

船舶事故等調査報告書

平成23年7月28日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故等番号	2010仙第41号	
事故等種類	衝突	
発生日時	平成22年5月18日 02時38分ごろ	
発生場所	福島県いわき市小名浜港沖 いわき市番所灯台から真方位182° 3,900m付近 (概位 北緯36° 54.0' 東経140° 55.4')	
事故等調査の経過	平成22年5月24日、本事故の調査を担当する主管調査官（仙台事務所）を指名した。 原因関係者から意見聴取を行った。	
事実情報	<p>船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等</p> <p>A 油送船 ^{きよくとう} 旭東丸、3,702トン 140476、旭タンカー株式会社</p> <p>B 漁船 ^{きんえい} 欣栄丸、19トン FS2-3263（漁船登録番号）、個人所有</p>	
乗組員等に関する情報	<p>A 船長A、三級海技士（航海）</p> <p>B 船長B、一級小型船舶操縦士・特殊小型船舶操縦士・特定</p>	
死傷者等	<p>A なし</p> <p>B なし</p>	
損傷	<p>A 左舷中央部外板に擦過傷及びハンドレール折損</p> <p>B 左舷船首部外板に凹損</p>	
事故等の経過	<p>A船は、船長Aほか11人が乗り組み、小名浜港沖で錨泊していたが、錨泊当直を行っていなかった。</p> <p>B船は、船長Bほか5人が乗り組み、いわき市小名浜漁港に向けて約12ノット（対地速力）の速力で自動操舵として北進中、船長Bが、小名浜港まで約4海里であることを確認したのち、居眠りに陥り、平成22年5月18日02時38分ごろ、A船の左舷中央部とB船の左舷船首部が衝突した。</p> <p>船長Bは、平成22年5月16日02時00分ごろ小名浜漁港を出港し、約2日間、沖で操業を行っていた。</p>	
気象・海象	<p>気象：天気 晴れ、風向 北 風速 約1.0m/s、視界 良好</p> <p>海象：平穏、波高 約0.5m</p> <p>日出時刻：04時26分ごろ</p>	
その他の事項	<p>A船は、錨泊灯及び甲板作業灯を点灯していた。</p> <p>A船は、気象及び海象が静穏だったことから、錨泊当直を行っていなかった。</p>	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	<p>あり</p> <p>なし</p> <p>なし</p> <p>A船は錨泊中、B船は北進中、小名浜港沖において、両船が衝突したものと考えられる。 A船は、錨泊当直を行っていなかったため、B</p>

	<p>船の接近に気付かなかったものと考えられる。</p> <p>B船は、自動操舵により北進中、船長Bが、居眠りに陥り、A船に気付かなかったものと考えられる。</p> <p>船長Bは、連日の操業で疲労していた可能性があると考えられる。</p>
原因	<p>本事故は、夜間、小名浜港沖において、A船が錨泊中、B船が自動操舵により北進中、A船が錨泊当直を行わず、また、船長Bが居眠りに陥ったため、両船が衝突したことにより発生したものと考えられる。</p>